



日本共産党名古屋市議員
柴田民雄

昭和区 市政ニュース

No. 147 [2018/2/25 発行]



いつでもご相談を
お困りごとはい



柴田民雄事務所 〒466-0849 昭和区南分町 3-3
御器所駅・川名駅から徒歩 11 分 (事務所の駐車場はありませんが東隣に名鉄協商コインパーキングがあります)

〒460-8508 名古屋市中区三の丸 3-1-1 名古屋市役所東庁舎 3F Tel 052-972-2071
連絡先 名古屋市議員柴田民雄事務所 Tel 052-858-3255 Fax 052-858-3256

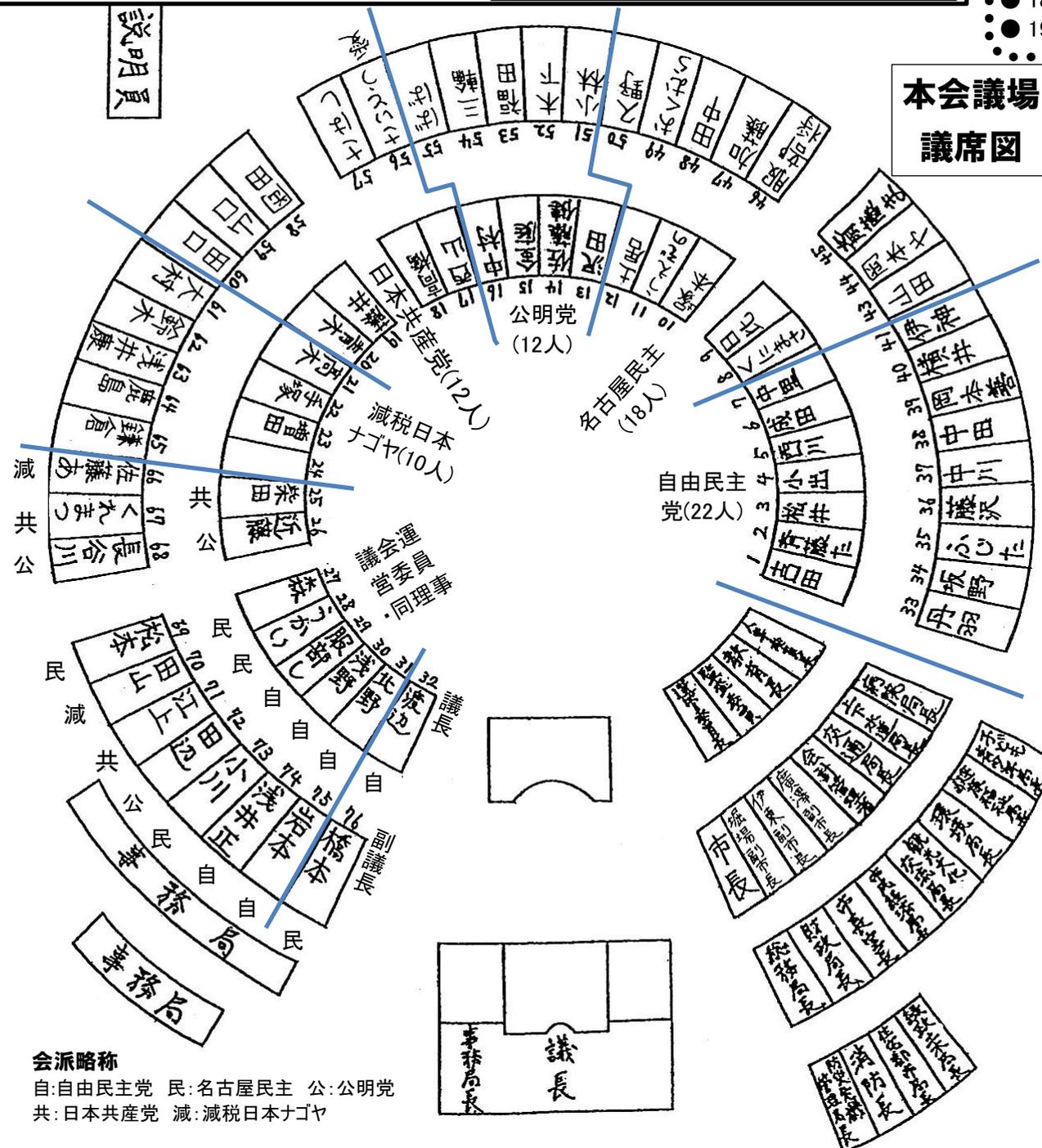
tamio.jcpweb.net / shibata@tamio.jcpweb.net / @shibata_pin / www.facebook.com/tamio.shibata
メールマガジンに登録を右のQRコードで表示される mtouroku@tamio.jcpweb.net に空メールを送信するだけ!

2月定例会始まる

2月19日から30日間の会期で2月定例会が始まり、19日開会前に恒例で行われている名フィルのミニコンサートの後、市長の提案説明が行われました。今定例会から、民進党と立憲民主党が統一会派「名古屋民主市会議員団」となったことに伴い、本会議の議席が変更になっています。(右図)

今回、市民税5%減税の法人市民税分を2019年度から廃止する条例改正案が提出されます。これは昨年11月に出された減税検証報告で市民税減税の効果が無かったことが明らかとなるなど市民税減税の意義が否定されたことの表れであり、さらに個人市民税の減税も廃止し、その分を市民の負担軽減・子育て支援・暮らし応援施策に回すことを求めてゆきます。

2月23日の本会議では、民泊規制条例案に関して藤井ひろき議員が議案



党派略称
自:自由民主党 民:名古屋民主 公:公明党
共:日本共産党 減:減税日本ナゴヤ

市議員柴田民雄 活動日誌

- 13(火): 定例朝宣伝[八事日赤駅], 奥田裁判傍聴, 奥田裁判懇親会, 滝子寄席実行委員会
- 14(水): 昭和区留守家庭児童育成連絡協議会と懇談
- 15(木): 議会運営委員会, 昭和区九条の会
- 16(金): 臨時法律相談
- 17(土): スーパー前宣伝[バロー滝川店], 昭和区女性会 芸能まつり, 生活相談
- 18(日): 御器所コミュニティセンターまつり
- 19(月): 本会議(2月定例会招集)

質疑に立ちます。

3月2日(金)には代表質問を田口かずと団長が行い、5日(月)~7日

(水)の3日間行われる本会議個人質問には、西山あさみ議員、岡田ゆき子議員、さはしあこ議員、青木ともこ議員、山口清明議員の5人が立ちます。ぜひ傍聴にお越しください。



市民に市政懇談会 市議団 40人

2月14日(水)市議団市政懇談会が金山都市センターで開催され市民40人

の方と、予算案など市政について意見交換を行いました。



昭和区 女性会芸能まつりに参加

2月17日(土)昭和文化小劇場にて、昭和区地域女性団体連絡協議会 芸能まつりが開催され、柴田議員が公職者らと開会式に登壇。全プログラムを鑑賞し、最後の総踊りにも区長らと参加しました。

区内の女性を中心として活動する15の団体が、箏曲、民踊、コーラス、フラダンスなどバラエティ豊かな芸能表現を発表。最後の総踊りでは、昭和区民のうた「好きです昭和区」を中部楽器技術専門学校のみなさんが替え歌にした「みんなで守ろう地球の環境」という環境意識啓発ソングで輪になって踊りました。



昭育連と懇談

2月14日(水)昭和区留守家庭児童連絡協議会(昭育連)定例会に柴田議員がおじゃまし、30分ほど懇談しました。国の施策が前進したことで新たに指導員の配置基準や施設の面積基準(定員)がつくられ、経過措置が終わる2020年には大量に待機児童が生まれることが予想されています。

基準がつくられたことは良いことですが、待機児童を生み出さないようにする責任は名古屋市にあります。市が主体となって、ニーズ調査に基づく施設整備計画を持ち、土地を確保したり、指導員の体制が保証できるだけの助成金を出す必要があります。

解決のためには超党派での取り組みが不可欠だと、あらためて確認しました。

また、あわせて柴田議員から滝子寄席の取り組みや、子どもたちの自由で主体的な表現を軸に楽しむ「表現祭」の取り組みを学童保育の土曜日の企画などに活用しては、などの提案もしました。

上を向いて歩こう

第34回：ベテルギウスは今

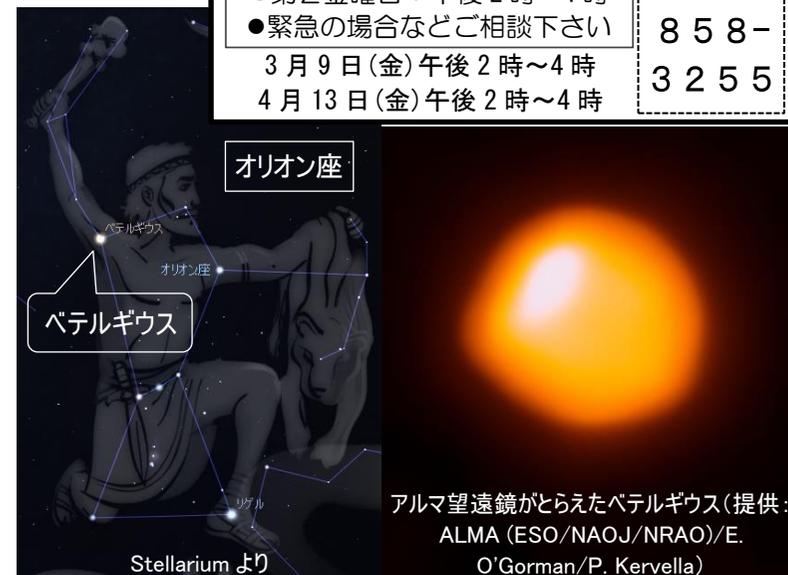
冬の星座の代表格と言えば、だれもがオリオン座を思い浮かべることでしょう。オリオン座は、その均整の取れたさま、姿の想像しやすさの点で、夏のさそり座と双壁を成す、星座の代表格だと思えます。

棍棒を振り上げる右肩に明るく光り、冬の大三角形の一つにもなっている一等星がベテルギウスです。実はこのベテルギウス、すでに消滅しているのではないかというのが、この数年の話題になっています。

昨年6月、南米チリの標高5,000mの高地に建設され、2011年に科学観測を開始した、日本を含む22の国と地域が協力して運用する巨大望遠鏡「アルマ」が、ベテルギウスのサブミリ波による高解像度画像をとらえました。(右上写真)

アルマ望遠鏡は、口径12mと7mのパラボラアンテナ合計66台を、直径16kmの範囲(東京の山手線の直径距離に相当)に設置し、これを結合させることで、1つの巨大な電波望遠鏡を作りだしています。解像度は人間の視力に例えると「視力6000」、大阪に落ちている1円玉の大きさが東京から見分けられる能力に相当するとのこと。

ベテルギウスは地球から約600光年の



距離にある赤色超巨星で、半径は太陽の1400倍(ミリ波で観測した場合)にも達し、現在知られている最大級の恒星のうちのひとつです。恒星の生涯の終末期を迎えており、この100万年以内にはほぼ確実に爆発すると言われています。表面から流出するガスは太陽系とほぼ同サイズまで広がっており、局所的な温度上昇で非対称な形になっているようすが画像からわかります。

超新星爆発をすれば昼間も明るく輝く姿が見られるでしょう。

600光年離れているということは、今見えている姿は600年前の姿ということです。この600年の間に爆発していれば、今はそこにはない星の過去の姿が見えているということになります。

冬空を見上げてそんな不思議を感じるのも一興ですね。(柴田民雄)

無料法律相談のご案内

協力弁護士と初回無料で法律相談ができます【予約制・30分】

- 第2金曜日：午後2時～4時
 - 緊急の場合などご相談下さい
- 3月9日(金)午後2時～4時
4月13日(金)午後2時～4時

予約TEL：
052-
858-
3255

真実がわかる今を知る「しんぶん赤旗」をご購読ください。 日刊紙 3497円/月 日曜版 823円/月。お申し込みは柴田民雄事務所まで 858-3255